

## 地下鉄ロゲインの1日

皆さん、こんにちは。つるまい OLC の新帯と申します。「つるまい」というのは、名古屋市のど真ん中にある「鶴舞公園」を活動拠点しているからです。名古屋市初の都市公園で今年100周年です。通称地下鉄ロゲイン「Nagoya City Park Tour」はその協賛イベントとして企画したものです。

競技方法はスコア 0 ですが、その移手段、通過証明が変わっています。鶴舞公園をスタート・ゴールとし、名古屋市内全域の公園にある特徴物（噴水等）に約60のポイントを設定。鶴舞公園から発展した名古屋市の公園の歴史をたどる、という趣向です。これだけ広域ですので、地下鉄・市バスの1日乗車券を使います。参加者は、地下鉄、バスを如何に乗りついで効率良く回るか、地図読みに加えて、その戦略も勝負に影響します。全ポを3日前に郵送。ダイヤを調べ、戦略を立てる時間を作りました。

「設定」と書いたのはポイントには何も「設置」していないからです。ポイントに到着したら特徴物を撮影することで通過証明とします。鶴舞公園から遠く交通の便の悪いほど得点は高くなっています。

普通であれば、この写真をゴール後にチェックするのですが、今は写メールという便利な道具があります。かつ山林と違いどこでも携帯が通じます。写真は携帯メールで本部に送られ、各チームがどのポイントを通過したかがリアルタイムでわかる仕組みです。さらに、その状況を携帯サイトにアップロードし、他のチームの戦略、得点状況を見ながら自分たちの戦略にフィードバックする、というこれまでにない戦い方になります。なお、携帯メールを使わないクラスも設けました。

参加者数は19チーム、約60人でした。新聞折込約3万部などで宣伝したのですが、まだ広報方法には課題があるかも。でも運営がパニックにならず、初の試みを行うにはちょうどよい数でした。参加者の7割方はオリエンティアではなく、「走るぞ」という人からベビーカーで参加まで、多彩なものも都会のロゲインならではかもしれません。日本ロゲイン協会の Web に掲載していただいたこともあり、Web 上では「うわさ」になっていたようです。

さて、優勝したのは、オリエンティアではありません。小学生の子供をつれたお父さんでした。前日3時間かけてプランを練ったそうです。この方、普通のロゲインにも参加されるそうですが、「普通のロゲインより面白かった」という感想を寄せていただきました。運営者としてはうれしいかぎりです。また、普段行かないような公園へ行くことができ楽しかったという感想もありました。これは名古屋市にとってはうれしい感想かもしれません。

ん。

このイベント、準備は結構大変でした。当クラブのメンバーはほとんどが名古屋市内かその周辺在住なので、手分けして馴染みの場所の写真を撮りました。ポイントは、行き先が分散するように配慮し、なるべく地下鉄に乗せないため、駅と駅の間に連続して高得点を配置したり、逆に中心部の名所を地下鉄で回れるポイントも配置して、だれでも楽しめるよう工夫しました。事前にシミュレーションしたのですが、スタッフですら「いったいどうやって回ったらいいんだ！」と迷ってしまい、当日をとっても楽しみにしていました。意外と家族連れが郊外の高得点ポイントにいきなり現れたり、携帯メールを受ける本部ではレースを「観戦」でき楽しめました。スタッフも、「来年は名古屋市最高峰にポイントを置きたい」など、早くも新たな挑戦に燃えています。

さて、今回参加された名古屋大学オリエンテーリング部の小林さんに参戦記を書いてもらいました。

『公共交通機関を使って市内を回るロゲイン、というのは僕がオリエンテーリングを始めたときからおこなって見たかった企画で、今回参加出来て非常に嬉しかったです。

前日にチームで集まってルートを考えてみたのですが、実際に移動時間などを調べてみると、制限時間の五時間というのが予想以上に短かったことに驚きました。端の高得点を一つ取りに行くとそれだけで大半を消費してしまうぐらいで、だからこそ戦略が強く問われてより面白が増したと思います。

数時間かけてルートを作りあげたときは優勝も狙える自信があったのですが、結果は入賞さえ出来ず。参加者のレベルの高さに脱帽しました。

悔しさが込み上げると共に、次回があるならばリベンジをとという気持ちが強く燃え上がりました。

期待以上の面白さに大変満足しています。今回は地下鉄ロゲインに参加させていただき、誠にありがとうございました。』

今回の地図などはつるまい OLC の Web (<http://tsurumaiolc.com>)に掲載していますので参考になさってください。当クラブでは、今後も「都市の森林＝公園」を活用し、都会に眠る「オリエンテーリング鉱脈」を発掘する試みを行っていきたくと考えています。

